

令和5年度 社会福祉法人五倫会 事業報告

令和2年より、兵庫県知的障害者施設協会のモデル事業として「強度行動障害スーパーバイザー養成講座」を取り組んできた結果、令和4年度から兵庫県より「兵庫県強度行動障害スーパーバイザー養成事業」として委託され、2年間実施しました。法人一丸となって事業に取り組んできたことで、職員の質の向上を実感することができました。

社会福祉法人として中長期的な視点を持った安定的な経営が求められている中、新型コロナウイルス対策に要する経費及び急激な物価高があったにもかかわらず、13期連続の増収、増益を継続することができました。また、人材確保については、4年ぶりに新卒者を受け入れることができませんでした。その他、福祉系大学、専門学校等の実習生を積極的に受けたり、複数の人材紹介会社等を活用し、また職員からの紹介制度を取り入れたことで、中途採用は、常勤3名、非常勤8名の、合計11名の職員を確保することができました。

福祉ニーズは複雑化・多様化していますが、地域における公益的な取り組みを実践するなど、社会福祉法人は良質な福祉サービスを提供し、地域社会において中心的な役割を果たす必要があります。そのためには、法人として将来のビジョンを設定し、法人経営の基礎向上を図ることが重要です。

これらの情勢を鑑み、福祉サービスの質の向上に向けた取り組みを行い、地域における福祉の充実・発展に貢献できるよう、下記の各種事業を実施しました。

具体的な活動内容について、以下のとおり報告いたします。

1. 評議員会・理事会の開催

評議員会

開催期日等	決議事項及び報告事項	出席者
令和5年6月24日 10:00～ 太陽の郷	決議事項 第1号議案 令和4年事業報告（案）及び収支決算(案)承認の件 第2号議案 役員任期満了による改選の件 第3号議案 定款変更（基本財産の追加）の件 報告事項 理事長職務執行状況について 姫路暁乃里増築及び大規模改修について	評議員 生嶋、門脇、碓、小西、林、横山（6名） 監事 松尾（1名） 評議員選任・解任委員 守分（1名）
令和6年3月24日 10:00～ 太陽の郷	決議事項 第1号議案 令和5年度第1次補正収支予算（案）承認の件 第2号議案 令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件 第3号議案 運営規程の変更の件 第4号議案 経理規程及び経理規程細則の変更の件 第5号議案 賃金規定の変更の件 報告事項 理事長の職務執行状況について <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度社会福祉施設等実地指導監査結果について 役員賠償保険の更新について 障害者施設総合補償制度の更新について 次年度以降の組織体制について 姫路暁乃里増改築計画について 	評議員 門脇、碓、西川、小西、林（5名） 監事 笠原、内海（2名） 評議員選任・解任委員 守分（1名）

理事会

開催期日等	決議事項及び報告事項	出席者
令和5年6月9日 10:00～ 太陽の郷	決議事項 第1号議案 令和4年事業報告(案)及び収支決算(案)承認の件 第2号議案 役員任期満了による改選の件 第3号議案 定款変更(基本財産の追加)の件 第4号議案 定時評議員会の招集の件 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ● 理事長職務執行状況について ● 姫路暁乃里増築及び大規模改修について 	理事 服部、田中、益田、濱西、川添(5名) 監事 松尾、内海(2名)
令和5年6月24日 12:00～ 太陽の郷	決議事項 第1号議案 理事長の選定に関する件	理事 服部、田中、益田、濱西、三木(5名) 監事 笠原(1名) 評議員選任・解任委員 守分(1名)
令和5年9月15日 17:00～ トラットリア・マーレ	決議事項 第1号議案 姫路暁乃里増改築計画に係る基本設計業務委託について 第2号議案 積立金取崩しについて 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ● 理事長職務執行状況について ● 姫路暁乃里の抵当権抹消について ● 令和6年度社会福祉施設等整備費補助金について ● ひめりんくの公募について ● 若手リーダー賞について 	理事 服部、田中、益田、川添、濱西、三木(6名) 監事 内海(1名)
令和5年12月23日 18:00～ 姫路キャッスルホテル	決議事項 第1号議案 定款施行細則の変更について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ● 理事長職務執行状況について ● 令和5年度社会福祉施設等整備費補助金補正予算について ● 姫路暁乃里の現況測量工事につて 	理事 服部、田中、益田、川添、濱西、三木(6名) 監事 笠原、内海(2名)
令和6年3月14日 17:30～ トラットリア・マーレ	決議事項 第1号議案 令和5年度第1次補正収支予算(案)承認の件 第2号議案 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件 第3号議案 運営規程の変更の件 第4号議案 経理規程及び経理規程細則の変更の件 第5号議案 賃金規定の変更の件 第6号議案 臨時評議員会の招集の件 報告事項 理事長の職務執行状況について <ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年度社会福祉施設等実地指導監査結果について ● 役員賠償保険の更新につて ● 障害者施設総合補償制度の更新について ● 次年度以降の組織体制について ● 姫路暁乃里増改築計画について 	理事 服部、田中、益田、川添、濱西、三木(6名) 監事 笠原、内海(2名)

2. 事業内容

第一種社会福祉事業

- 障害者支援施設 姫路暁乃里
生活介護 定員 38 名
施設入所支援 定員 30 名

第二種社会福祉事業

- 障害福祉サービス事業 姫路暁乃里
短期入所 定員 4 名
日中一時支援 定員 4 名
- 障害福祉サービス事業 太陽の郷
生活介護 定員 20 名
就労継続支援 B 型 定員 15 名
- 障害福祉サービス事業 チャレンジ
共同生活援助事業 定員 16 名
短期入所（空床型）
- 相談支援事業 ふらっと
一般・指定・障害児相談支援事業
- 障害児通所支援事業 オリオンあなせ
放課後等デイサービス 定員 20 名
- 地域相談窓口 東部ひめりんく

3. 事業方針

(1) サービス提供基盤の強化と、サービス提供のための人材育成

① 強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修（兵庫県委託事業）

令和4年度より3年間、兵庫県より「強度行動障害スーパーバイザー養成事業」を受託して2年目の今年度も、社会福祉法人北摂杉の子会より講師を招き、1年間を通じて事例検討会を法人各事業所からコアメンバーが参加し実施した。

② 職員の教育体制の充実

組織内の様々な階層や役職に応じた知識やスキルを身につけ、組織全体の効率や質を向上させることを期待して、各事業所で様々な内部研修を実施し、外部研修にも正規、非正規にかかわらず積極的に参加した。また、次年度は階級別を含め、横断的な研修や交流も重要であり、組織全体の一体感や協力関係を促進することを目指す。

(2) 職員の能力や個性を生かす組織開発

① 人事制度等の改善

- ・職員の働きやすい環境の整備や賃金・報酬制度の見直し

勤怠管理、人事評価等の人事労務管理ソフト（jinjer:ジンジャー）を導入したことで、大幅に事務作業を削減することができた。今後は、パフォーマンスに応じた評価や報酬の導入、職務やスキルに応じた昇給制度の構築を目指す。

- ・キャリア開発支援

職員のキャリアパスやスキルアップを支援する仕組みの見直しを行った結果、法人の念願であった社会福祉士を2名の職員が取得することができた。また、兵庫県社会福祉協議会の「実務者研修受講資金貸付制度」を活用し、新たに3名の職員が介護福祉士を取得した。

- ・ワークバランスの支援

職員のワークライフバランスを尊重し、柔軟な勤務制度や家庭との両立支援策を提供することができた。

② リーダー級及び課長級等の階層別研修

管理職やリーダーシップポジションにいる職員に特化した研修を提供することはできなかった。次年度は、リーダーシップや組織運営、制度等に関する研修を実施する。

(3) 利用者の人権擁護・虐待防止のための体制強化

① 虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会の開催

法人一括での設置とし、課長・管理者・サビ管が参加し、毎月開催した。内容については、全職員に文面で周知させた。

② 法人内の全職員に対し、虐待防止、身体拘束等の適正化に関する研修の実施

全施設・事業所に対し、研修を実施した。中途採用の職員へは、その都度、入職前研修において実施した。

(4) 新たな事業の推進と事業領域の開拓

③ 姫路暁乃里の増築及び大規模改修

姫路市と事前協議を行い、令和6年度社会福祉施設等整備費補助金の申請を5月に行い、8月に京都の株式会社ゆう建築設計に基本計画を依頼した。8月末には、選考の結果、「優先順位1位」を獲得することができた。11月末に、令和5年度社会福祉施設等整備費補助金の補正予算にも挑戦したが、年明けの能登半島地震により内示等の遅れも予想され、年度内完成の見通しが難しい状況となったため、辞退することとなった。次年度は、事業スケジュールを再検討し、令和7年度補助事業へ再度挑戦する。

④ 高齢化・重度化に対応したグループホーム等の開設

新規事業の準備を進めることはできなかった。次年度以降は、行動障害のある方を受け入れているグループホームへの見学や勉強会、グループホーム利用に関するアンケート等を実施し、太陽の郷の保護者を中心に、開設に向けての説明会を開催し、ニーズ等の把握に努める。

⑤ オリオン2事業所の統合

あなせに統合し、定員を20名に変更した結果、約1,000万円以上の減収となったが、職員を集中させ、支援空間も大きくなったことで、空間構造化、視覚支援等サービスの質の向上に繋げることができた。令和7年度の新事業所開設に向け、人材育成に引き続き取り組む。

⑥ 地域相談窓口東部ひめりんくの受託

姫路市より、10月に「東部ひめりんく」を受託することができた。地域の障害のある方やその家族からの生活における総合的な相談等を聞くことができ、少しずつではあるが各関係機関との連携を構築することができた。法人としても、地域のニーズ等を把握する機会となり、今後の事業展開に繋げていきたい。

指定障害者施設 姫路暁乃里（生活介護・施設入所支援）

事業計画に目標として掲げていた下記の内容については、概ね実行して達成もしくは継続している。

- 北摂杉の子会 堀内桂氏をスーパーバイザーとして招いて、兵庫県のモデル事業を2年経た後に兵庫県の委託事業（強度行動障害SV事業）として2年が経過した。毎月事例検討会を行って助言・指導を頂くことで、職員がエビデンスに基づいた支援を提供する機会が増えた。利用者の予期不安の軽減を図る（アセスメント→構造化→評価→再構造化する）ことで、利用者が自立してできることが増え、より良い生活に近づいている。事例検討会に参加していない職員も担当利用者への視覚支援の提供や国家資格（社会福祉士1名、介護福祉士3名）の取得等、福祉の専門職としての意識が事業所内で高まってきている。
- 姫路暁乃里増改築計画については、1月の能登半島地震の影響で内示が遅れると通達があり、設計・工期の期間が短くなるため、令和6年度の国庫補助金の申請は辞退したが、一方で十分な時間を持つことができたため、先進的な事業所の見学や利用者の特性に合わせた個室作り（個室帳）等、打ち合わせにかける時間も増えた。強度行動障害の特性に応じた環境作りや地域生活支援拠点（緊急短期入所実績6件）としての短期入所の増床、感染症に対応できるユニット等、特色の強い事業を作っていく。
- コロナウイルス感染症について5月に2類→5類へ移行したため、外出の機会の増加（昨年度に比べて約1.7倍の増加）や家族との面会や外泊の増加、利用者旅行の再開等、利用者の楽しみが増加するよう努めた。毎日館内の消毒・換気や職員はユニバーサルマスキングを推奨していたが、外部との接触機会が増えることで、感染症発生頻度は高くなった。
- 人材育成・人材教育については強度行動障害SV養成事業・OJT・Off-JTを基本として実施した。自閉症・高齢者・ダウン症チームを作り、各チームで勉強会をして自己研鑽をし、職員会議で発表の機会を設けて専門性・支援技術の向上に努めた。また施設外での発表の機会も増え、強度行動障害の方への支援については県と市単位でそれぞれ発表、大学では福祉の仕事の魅力についての発表の機会を設けた。人材確保については採用活動に積極的ではなかったが、令和4年度に続き令和5年度も正規職員の退職者は0人であった。

事務関係・施設設備管理業務報告

定例業務

保健衛生	事務関係
給食担当職員検便（月1回） 身体測定（利用者・月1回） 検温・血圧測定（利用者・随時） 健康診断（利用者年1回、職員年2回） エアコン、網戸清掃（年3回） 窓、換気扇、ベランダ、乾燥機清掃（毎月第4土曜日） 床清掃、タンス整理（週1回）	介護給付費（施設入所支援、生活介護、短期入所）請求 訓練給付費（共同生活援助事業）請求 地域生活支援給付費（日中短期入所）請求 計画相談給付費請求 障害児相談支援給付費請求 本部・施設会計試算表 預金・小口預金 取引業者支払（末日締め、翌月払い） 福祉・介護職員処遇改善 計画書 実績報告書提出 社会福祉施設職員退職共済 掛金納付対象職員届提出 職員の労務管理 利用者負担金請求 振替 障害者年金振込確認（偶数月） 介護給付費等支給申請書 兼 利用者負担額減額・免除等申請書提出 利用者市民税・県民税申請書提出 利用者国民健康保険料・簡易所得申告書提出 利用者小遣い 利用者預かり金確認報告（年4回）

施設設備管理業務

点検箇所等	内容	担当業者
消防用設備点検	総合点検 機器点検	関西ホーチキエンジニアリング(株)
フリーロックシステム	保守点検（年1回）	(株)JEI
昇降機	定期点検（年4回）	(株)日立ビルシステム
自家用電気設備点検	定期点検（隔月）	(一財)関西電気保安協会
貯水槽洗浄消毒・水質検査	定期清掃	(株) 姫路洗管
雑排水洗管作業（全館）	清掃（年1回）	
洗管作業（グリストラップ）	定期清掃（年4回）	
浄化槽	保守点検（毎月2回） 汚泥引抜	(株) アクアプラス
水質検査	検査（年1回）	(一社) 兵庫県水質保全センター
床・トイレ等 ベランダ・エアコン等	清掃（平日及び祝日） 洗浄・清掃（定期的）	フロンティア
害虫駆除	ゴキブリ駆除（厨房内） 定期点検（厨房内）毎月月末に実施	エース消毒（株）
利用者大掃除	清掃（12月）	利用者、職員
マット交換 マット交換（トイレ前のみ）	交換（4週間に1回） 交換（2週間に1回）	(株) ユニマットライフ

行事等実施報告

日常生活に変化をつけるため、行事を行うことで季節感を感じてもらい、身体機能の維持・脳の活性化・コミュニケーションの促進を目的に支援を行った。コロナウイルス感染症が2類→5類に移行したため、令和4年度と比較すると約1.7倍外出件数が増え、余暇も充実が図れた。また少人数での利用者旅行や外出の機会を増やし、個別支援に努めた。体操教室は休止中であるが音楽療法は再開して館内で楽しめる行事や活動を増やした。

1. 定例行事

内容	日時
アルミ缶回収	毎週木曜日 午前
真砂園パン購入	毎週水曜日 午後
体操教室（休止中）	第2・3・4・5火曜日 午後
太鼓教室	第2金曜日 第4土曜日 午前
音楽療法	第1・3金曜日 午前
高谷さん音楽	第2・3・4水曜日 午前

2. イベント行事

期日	行事内容	場所	担当者
4月5日	観桜会	市ノ池公園	川添理
4月10日	希望外出	姫路セントラルパーク・ごちそう村	濱田
4月11日	希望外出	ヨーデルの森	橋本・脇坂
4月17日	希望外出	リバーシティー・マクドナルド	大澤・川田
4月21日	希望外出	リバーシティー・びっくりドンキー	川添理
5月9日	希望外出	甲子園球場	西村
5月10日	希望外出	ダイレックス・一番星・力丸	久保田
5月11日	希望外出	ニッケパークタウン加古川・すし辰	西村・松田
5月18日	北村郁夫さん送別会	姫路暁乃里	川田
5月26日	ばんたん親善運動会	加古川運動公園陸上競技場	大澤・久保田・玉井
5月27日	希望外出	ムサシ・ドンキホーテ・リバーシティー	川田
6月18日	希望外出	アクリエひめじ（コンサート）・やき笑	小林
6月20日	希望外出	ヨーデルの森	足立・川添京
7月7日	七夕会	姫路暁乃里	神川
7月12日	希望外出	リバーシティー・スシロー	川添理
7月26日	希望外出	ダイレックス・一番星・力丸	久保田
7月29日	希望外出	マクドナルド	児島
8月17日	希望外出	リバーシティー・王将	川田
8月30日	希望外出	姫路市立美術館	大澤・脇坂
9月2日	希望外出	まとがたマルシェ（的形駅前）・垂米里庵	香山・田中
9月13日	夏祭り	姫路暁乃里	川添理
9月19日	希望外出	大津イオン・すたみな太郎	川添理
9月21日	希望外出	ダイレックス・一番星・力丸	久保田

9月26日	希望外出	姫路セントラルパーク・ごちそう村	橋本・松田
10月20日	日帰り旅行	明石みつばし・ほんまち三白館・延羽の湯	橋本・川添京・木津・久保田
10月20日	希望外出	リバーシティー・スシロー	川田
10月23日	日帰り旅行	城崎マリンワールド・城崎温泉	森本・川添理・西村
10月30日	ハロウィン	姫路暁乃里	香山
11月7日	日帰り旅行	神戸どうぶつ王国・南京町	森本・久保田・川田・脇坂
11月10日	希望外出	そよ美容院・和食さと	川添京
11月13日	希望外出	ダイレックス・一番星・力丸	久保田
11月16日	希望外出	イーグレ姫路・かごの屋	脇坂
11月20日	日帰り旅行	道の駅あわじ・淡路シェフガーデン・美湯 松帆の郷	大澤・児島・内藤・松田
11月22日	希望外出	リバーシティー・びっくりドンキー	大澤・濱田・上田
12月8日	希望外出	神戸フルーツフラワーパーク	大澤・濱田・吉中・神川・小林
12月25日	クリスマス会	姫路暁乃里	川添理
1月4日	希望外出	リバーシティー・ガスト	川添理
1月7日	希望外出	姫路市立水族館・和食さと	橋本・脇坂
1月9日	希望外出	姫路市立動物園・やき笑	香山
1月19日	希望外出	ニッケパークタウン	川添京・大山
1月20日	希望外出	姫路市立動物園・CoCo 壱番屋	内藤
1月23日	希望外出	ダイレックス・一番星・力丸	久保田
1月26日	希望外出	カラオケレインボー	西村・田中
2月3日	節分	姫路暁乃里	香山
2月6日	希望外出	リバーシティー	大澤
2月9日	希望外出	パレット・リバーシティー・マクドナルド	川田
2月11日	希望外出	太子高校Jコーラス部卒業ライブ・ごちそう村	森本
2月14日	バレンタイン	姫路暁乃里	香山
2月16日	喜寿祝い	すし辰	灘一善・木津
	希望外出	リバーシティー・花水木	玉井
2月19日	希望外出	しっぽの森・ごちそう村	川添理・上田
2月27日	希望外出	太陽公園・ホリデーインヴィラ	濱田・木津
2月29日	希望外出	姫路市立水族館・焼肉力	児島・西森
3月3日	ひなまつり	姫路暁乃里	香山
	希望外出	兵庫県立芸術文化センター・かごの屋	小林
3月8日	希望外出	そよ美容院・うまいもの横丁	川添京
3月11日	希望外出	ダイレックス・一番星・力丸	久保田
3月12日	避難訓練	姫路暁乃里	小林
3月14日	希望外出	ニトリ・スシロー	川添理
3月15日	希望外出	姫路市立水族館・和食さと	橋本・脇坂
3月21日	希望外出	姫路セントラルパーク・ごちそう村	川田・大山
3月26日	希望外出	リバーシティー・王将	川田

3月27日	希望外出	中山農園（いちご狩り）・リバーシティー	西村・竹下
3月29日	希望外出	アトア・TOOTH MART	足立・玉井

職員研修報告

1. 施設外研修

施設外研修は現地での研修にも積極的に参加し、職員の支援技術の向上や知識向上を図りながら他事業所の職員との交流の機会も設けた。姫路暁乃里増改築計画に伴い、自閉症・高齢化・医療面に特化した事業所の見学も実施した。施設内研修においては、各職員を分野（自閉症・ダウン症・高齢者）でチームに分けて、パワーポイントで資料を作成して職員会議にて発表する機会を設けた。

期日	研修名	場所	参加者
4月1日	新任職員研修会	姫路暁乃里	足立・神川・脇坂
5月22日	福祉従事者新任職員研修(障害者福祉)	兵庫県福祉人材研修センター	神川・脇坂
6月9日	社会福祉法人みつわ福祉会特別養護老人ホーム兼ケアハウスキャッシル真和	特別養護老人ホームキャッシル真和	大澤・宮元・川添京・木津
6月20日	社会福祉法人来島会スーパーバイズを活用した支援・実践報告会	姫路暁乃里(リモート)	香山
7月7日	OJTリーダー養成研修(基礎編)	兵庫県福祉人材研修センター	児島
7月13.14日	全国知的障害関係施設長等会議	東京国際フォーラル	森本・大澤
7月25日	行動援護従業者養成研修	ヨシカワビル	足立・神川・脇坂
8月1日	行動援護従業者養成研修	ヨシカワビル	足立・神川・脇坂
8月8日	行動援護従業者養成研修	ヨシカワビル	足立・神川・脇坂
8月9日	播淡地区職員研修会	姫路市総合福祉会館	濱田・吉識
8月17日	感染症対策研修	太陽の郷作業場	宮元
8月23日	第37回 播淡地区施設長・職員合同研修会	BIZ SPACE 姫路 6階大ホール	森本・大澤
8月25日	社会福祉施設職員感染症対策研修	ZOOM	宮元・右田
9月6日	兵庫県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者 基礎研修	ZOOM	香山
9月11日	兵庫県知的障害者施設協会新任職員研修	兵庫県福祉センター	玉井
9月21日	五色精光園 理学療法士 見学	五色精光園	森本・足立
10月3日	看護職と介護職の連携力強化研修	兵庫県福祉人材センター	宮元
10月8日	てんかんを知ろう	神戸大学医学部福利厚生施設	宮元・吉識
10月27日	看取りのシミュレーション	姫路聖マリア病院	宮元・吉中
11月1日	放課後等デイサービス向け研修会	姫路市市民会館	吉識
11月21日	意思決定支援について	兵庫県福祉センター	上田
11月25日	国立のぞみの園セミナー	姫路暁乃里(リモート)	木津
11月28日	兵庫県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者 基礎研修	ZOOM	香山

11月29日	兵庫県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者 基礎研修	ZOOM	香山
11月29日	播淡地区職員研修会	姫路市民会館	濱田・吉識
12月6日	兵庫県相談支援フォローアップ中播磨圏域研修会	姫路総合庁舎職員福利センター	宮元・吉識・吉中
12月15日	兵庫県相談支援専門コース別研修 「サービス管理責任者等に求められる意思決定支援の展開」	姫路市総合福祉会館5階 第1、2会議室	大澤
12月20日	マネジメント研修	姫路市総合福祉会館	濱田
1月31日	近畿地区知的障害関係施設長等会議研修会	クサツエストピアホテル	森本
2月1.2日	PECS レベル1 ワークショップ	姫路暁乃里(リモート)	濱田
2月13日	応用行動分析からの行動問題の理解と支援の基礎	太陽の郷作業場	森本・大澤・西村・内藤・神川・松田・竹下
2月16日	組織マネジメント実践研修	兵庫県福祉人材研修センター1階研修室	大澤・児島
2月21日	これからの姫路の ACP について	姫路暁乃里(リモート)	宮元・吉中
2月22日	地域の往診・訪問診療を知ろう	灘市民センター	右田・吉中
3月14日	地域の往診・訪問診療を知ろうシリーズ3	姫路市立八幡公民館	宮元・吉識・吉中・右田
3月18日	法人内研修 AED 講習	太陽の郷 作業場	宮元

2. 施設内研修

期日	内容	参加者
4月	事業計画・就業規則・個別支援計画・コンサル状況報告	職員
5月	業務内容見直し・ケース会議・コンサル状況報告	職員
6月	遅出業務見直し・ケース会議・重度障害者支援加算の記録	職員
7月	フォーマル検査研修	職員
8月	感染症研修	職員
9月	自閉症チーム勉強会	職員
10月	虐待防止、権利擁護研修会・避難訓練	職員・利用者
11月	リハビリテーション研修会	職員
12月	感染症・増改築計画・コンサル状況報告	職員
1月	リハビリ記録・ケース会議・個別ケース	職員
2月	日中活動・コンサル状況報告・個別ケース	職員
3月	AED 研修・避難訓練	職員・利用者

実習生受入報告

障害福祉を体験して学びを得る機会を作るため、大学・短大からの依頼に対して積極的に受け入れたが、令和4年度は15名に対して7名の実習生受入で半減した。原因として、コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより実習受入事業所が増加したため、学生が分散した可能性が考えられる。実習を通じて福祉専門職のやりがい、障害福祉の意義や社会的役割を学んでもらいました。実際の個別支援（構造化やコミュニケーション支援等）を体験してもらうことで、実習最終日のレクリエーションでは、スケジュールやイラストを用いて活用する様子も見られています。人材確保の面でも実習を通じて障害福祉に興味を持つ学生も多く、実習後にアルバイト雇用として働いている学生もおり、人材確保にも繋がった。

学校名	期間	人数
関西福祉大学 教育学部	①2023年 8月7日～8月19日 ②2023年 8月21日～9月2日 (10日間)	①2名 ②2名 計4名(宿泊実習)
夙川学院 神戸教育短期大学 こども学科	①2023年9月1日～9月14日 →姫路暁乃里がコロナウイルス感染症蔓延のため、オリオンにて振替実習を実施 ②2023年9月15日～9月29日 (10日間)	①2名 ②2名 計4名
合計		8名

資格取得者

資格取得	人数(総取得者数)
社会福祉士	1(1)
介護福祉士	3(11)
保育士	(7)
社会福祉主事	(3)
強度行動障害支援者養成研修(基礎)	(7)
強度行動障害支援者養成研修(実践)	(6)
知的障害援助専門員	(1)
喀痰吸引等研修終了	(2)
行動援護従事者養成研修	3(13)

姫路暁乃里(施設入所・生活介護)日課

近年、利用者の高齢化・重度化に伴い利用者個々に合わせた支援が必要になっている。意思決定支援を念頭に置きながら、障害特性やニーズに合わせた支援提供を行った。基本的には生活習慣の確立、利用者の要望や各々の課題に沿った自立課題等を職員が考察し、提供する事で自立や生活意欲の向上、健康維持に繋がる活動を提供した。

時間	平日	休日
6:30	起床、整容	起床、整容
7:45	朝食準備	朝食準備
8:00 ～ 9:15	朝食 歯磨き 洗濯 清掃 朝礼 日中活動ボード作成 ラジオ体操 館内ランニング	朝食 歯磨き 洗濯 清掃 朝礼 日中活動ボード作成 ラジオ体操 館内ランニング
9:30	引継ぎ	引継ぎ
10:00 ～ 11:30	作業 機能訓練 習字・編み物 メイク・ネイル 散歩 オミビスタ シーツ交換 居室整理(火曜日) 高谷さん音楽(第2・3・4水曜日) 缶回収(木曜日)音楽療法(第1・3金曜日) 太鼓教室(第2金曜日)	余暇 ドライブ、カラオケ 居室整理 衛生チェック 太鼓教室(第4土曜日)
12:00	昼食 歯磨き	昼食 歯磨き
13:00 ～	バイタル測定 体操教室(火曜日)※休止中 真砂園パン(水曜日) 女性利用者入浴 男性利用者入浴	バイタル測定 余暇 女性利用者入浴 男性利用者入浴
16:00	引継ぎ 余暇	引継ぎ 余暇
18:00	夕食 歯磨き	夕食 歯磨き
20:00 ～ 22:00	就寝準備 自由時間 消灯 2時間おきに巡室	就寝準備 自由時間 消灯 2時間おきに巡室

利用者状況

【入所】年齢別利用者数

(2024年3月31日現在)

年齢(歳)	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	合計(人)
男性	0	2	5	7	1	1	0	16
女性	0	0	3	4	5	1	1	14
合計	0	2	8	11	6	2	1	30

【入所】利用者平均年齢

	男性	女性
最小年齢	24歳11ヶ月	32歳
最高年齢	65歳5ヶ月	76歳3ヶ月
平均年齢	41歳3ヶ月	50歳1ヶ月
男女平均年齢	45歳5ヶ月	

【生活介護】年齢別利用者数

(2023年3月31日現在)

年齢(歳)	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	合計(人)
男性	1	3	5	8	1	1	0	19
女性	0	1	3	6	7	1	1	19
合計	1	4	8	14	8	2	1	38

【生活介護】利用者平均年齢

	男性	女性
最小年齢	19歳6ヶ月	22歳5ヶ月
最高年齢	65歳5ヶ月	76歳3ヶ月
平均年齢	39歳2ヶ月	48歳10ヶ月
男女平均年齢	44歳	

【生活介護】障害支援区分

障害支援区分	3	4	5	6	合計(人)
人数	0	1	13	24	38

令和4年度平均障害支援区分：5.3 → 令和5年度平均障害支援区分：5.6

医療機関受診状況

嘱託医師による毎月の往診、姫路市医師会による健康診断で血液検査、心電図、胸部レントゲン、検尿等を実施し、利用者の健康管理に努めた。医療チームは看護師4名、理学療法士1名、歯科衛生士1名体制となり、より専門性の高いケアを提供できるようになった。

感染症に関しては、コロナウイルス感染症が5類に移行した以降、感染症の頻度が増えた。消毒液の種類を変え、常時館内消毒の徹底と換気の励行、ユニバーサルマスクの推奨で今一度感染症対策強化に努めている。

通院状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (人)
内科	10	5	3	9	2	4	3	8	20	48	4	0	116
外科	1	0	0	3	0	1	9	0	0	0	0	6	20
整形外科	11	8	3	5	9	15	3	6	0	3	0	4	67
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器内科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
脳外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	2	3	1	1	1	1	1	1	3	1	2	0	17
皮膚科	3	1	1	3	2	4	1	0	3	4	1	2	25
歯科	10	11	15	6	9	15	5	13	13	8	10	16	131
婦人科	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0	0	7
消化器胃腸科	2	0	8	2	0	0	2	2	0	3	0	1	20
精神科	13	11	9	12	11	10	11	12	6	10	8	16	129
眼科	3	6	2	6	0	5	6	2	5	6	1	5	47
呼吸器内科	0	3	2	11	4	0	6	1	1	0	1	1	30
神経内科	4	7	5	5	7	4	7	6	14	4	7	4	74
耳鼻咽喉科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	7
予防接種	0	0	0	0	0	0	9	27	0	0	0	0	36
合計	61	57	50	64	46	60	63	78	65	88	36	60	728

入院状況

医療機関名	人数(病名)	期間
ツカザキ病院	1名(眼内オイル除去)	2023年4月14日～4月15日
姫路中央病院	1名(てんかん発作)	2023年11月21日～12月1日
魚橋病院	1名(インフルエンザによる肺炎)	2023年12月5日～12月12日

協力医療機関

医療機関名	診療科	所在地	電話
あだちこども診療所（嘱託医）	てんかん診療・小児科	加古川市加古川町美乃利 465-1	079-423-2567
けい整形外科クリニック	整形外科	高砂市北浜町西浜 282-4	079-254-5533
姫路第一病院	内科・外科 整形外科・循環器科	姫路市御国野国分寺 143	079-252-0581
高砂西部病院	総合病院	高砂市中筋 1 丁目 10 番 41 号	079-447-0100
山本歯科医院	歯科	姫路市大塩町宮前 28 番地	079-254-6966

利用医療機関

医療機関名（50 音順）	診療科	所在地	電話
安積外科胃腸科医院	外科・消化器外科・内 科・肛門外科	姫路市砥堀 45-1	079-264-1155
石川病院	総合病院	姫路市別所町別所 2 丁目 150	079-252-5235
いのうえ皮ふ科	皮膚科	姫路市別所町佐土 2 丁目 61	079-252-4112
井野病院	耳鼻咽喉科	姫路市大塩町汐咲 1 丁目 27	079-254-5553
魚橋病院	精神科	相生市若狭野町若狭野 235-26	0791-28-1395
おおはら眼科	眼科	姫路市御国野町国分寺 800-5	079-251-8600
尾上眼科	眼科	姫路市元塩町 142-1	079-223-0559
加古川中央市民病院	総合病院	加古川市加古川町本町 439 番地	079-451-5500
姫路市歯科医師会口腔センター	歯科	姫路市安田 3 丁目 107	079-288-5896
じむらクリニック	耳鼻科	姫路市阿保甲 53-1	079-221-7307
高砂市民病院	総合病院	高砂市荒井町紙町 33-1	0794-42-3981
寺田内科呼吸器科医院	内科・呼吸器科	姫路市城東町五軒屋 3-6	079-285-0111
土井医院	内科	姫路市の形的形の形 1761-20	079-254-0732
中野診療所	皮膚科・内科	姫路市白浜町甲 2138	079-246-0501
播磨大塩病院	精神科	姫路市大塩町 1096	079-254-0321
東ひめじ腎泌尿器科クリニック	泌尿器科	姫路市日出町 3-38-1 東姫路駅前 メディカルプラザ	079-287-9188
姫路聖マリア病院	総合病院	姫路市仁豊野 650	079-265-5111
姫路中央病院	総合病院	姫路市飾磨区三宅 2 丁目 36	079-235-7331
兵庫県立はりま姫路 総合医療センター	総合病院	姫路市神屋町 3 丁目 264 番地	079-289-5080
兵庫県立がんセンター	総合病院	明石市北王子町 13-70	078-929-1151
よしだ耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	高砂市荒井町扇町 14-13	079-443-0335

事故・ヒヤリハット

今まではてんかん発作・高齢・重度化による転倒や怪我が多かったが、薬関係の事故報告やヒヤリハットが多かった。事故報告が29件→35件、ヒヤリハットが2件→7件と増加したが、軽微な事故やヒヤリハットでも報告書を提出する職員の意識向上によるものであると考える。館内に設置している安全カメラによる事故検証や職員はリスクマネジメントする意識を持って迅速な対応をとっており、重大事故には至らなかった。また、てんかん発作を有する利用者の居室にはプライバシーに配慮した赤外線カメラを設置し、夜間の睡眠状況や就寝時の落下事故による怪我を防ぐようハード面でも配慮した。

事故内容	件数
(自らによる) 怪我・転倒	6
(他者による) 怪我・転倒	5
誤嚥	0
薬関係 (誤薬・投薬忘れ含む)	14
その他 (発作含む)	10
合計	35

ヒヤリ内容	件数
(自らによる) 怪我・転倒	0
(他者による) 怪我・転倒	0
誤嚥	0
薬関係	6
その他	1
合計	7

苦情の集計件数

今年度の苦情は0件であった。利用者および家族からの苦情に対し、適切な解決に努め、より良いサービスに繋げていけるようにする。

苦情種別・申出人の集計

申出人	苦情	その他
利用者	0	0
家族	0	0
代理人	0	0
職員	0	0
その他	0	0
合計	0	0

作業報告

作業種目・内容

作業種目	作業内容
空き缶作業	毎週木曜日、地域の方々のご協力のもと缶を回収した。道中で出会う地域の方との挨拶、地域交流に繋がっている。集めた缶はリサイクル業者に納品した。段ボール、新聞の回収も行っている

作業売上 (単位：円)

月	空き缶作業： 安田商店
4月	3,080
5月	3,150
6月	0
7月	4,820
8月	1,700
9月	0
10月	4,935
11月	1,615
12月	1,530
1月	1,360
2月	1,275
3月	1,615
合計	25,080

余暇活動報告

周囲との協調性や自己のパフォーマンスを向上させる為に体操教室、太鼓教室、音楽療法を実施した。生活・日中活動支援を進めていく中で、余暇活動の充実の一環として行い、それを利用者が楽しみ、また生活の張りとなるような機会の提供を行った。

1. 体操教室（※休止中）

目的：緊張を緩め、正しい姿勢の保持を身に付けることにより身体意識を高める。基礎的な運動能力を養うとともに社会性豊かに心身の調和的な発達と人間形成の基礎作りを目的とする。

内容：誰でもできて無理のない、バランスがよく動きやすい体になり、歩きやすくなる等利用者の健康維持・元気に明るく楽しむことを心がけ行った。

講師	教室日	時間	参加者
(株)エヌ・エス・アイ	毎月第2・3・4火曜日	14時～15時	利用者・職員

2. 太鼓教室

目的：太鼓の音、心と体を解き放ち、表現する喜びと楽しさを感じてもらう。また自立心の向上・責任感・協調性を養うことを目的とする。

内容：「民謡集団 鯨」様の指導の下、1人1人から放たれた音に個性がありますが、毎回十数名が楽しい雰囲気の中、活動を行う事ができた。

講師	教室日	時間	参加者
民謡集団 鯨	毎月第2金曜日 第4土曜日	10時～11時	利用者

3. 音楽療法

目的：心身のリラックス、他人とのコミュニケーションや関わり方を学ぶ、表現力を養うことで自分の意思や感情を示せるようになる。音楽を通して「はじまり」と「終わり」を学ぶことで法則性を身につける事ができる等の効果が期待できる。

内容：カスタネットやタンバリンなどの簡単な楽器を使用して、それぞれ自分に合った音楽表現、個々の能力にあった楽しみ方ができた。

講師	教室日	時間	参加者
兵庫県認定音楽療法士会 増井先生・河西先生	毎月第1・3金曜日	10時15分～11時15分	利用者
兵庫県認定音楽療法士会 高谷先生	毎月1・2・4水曜日	10時15分～11時15分	利用者

日清医療食品株式会社

「日々の食事を通じ、健康と笑顔へと繋げる」をモットーに食事サービスを実施しました。

今年度も昨年度に引き続き、昼食時のメニューの中に月2回、3択メニューを提供と月2回ティータイム時に手作りおやつを提供を行いました。

日清医療食品で行っている取り組みである、季節の果物を取り入れて今まで食べたことがなかった食材にも触れて頂きました。

また障害の程度、年齢に応じた食形態加工の工夫や自助具の使用等の個別対応にも注力し、利用者様が自分自身の力で食事を食べて頂けるよう努めました。

感染症の発生時には衛生マニュアルの規定に沿った対応を取り、利用者様への感染拡大を防止するための殺菌・除菌対応を実施しました。感染症発生時も利用者様には普段と変わらない食事の時間を過ごして頂くために、自助具の使用を控えて頂くのではなく、濃度200ppmの次亜塩素酸ナトリウムによる浸漬殺菌を行いました。

利用者様の健康と笑顔が絶えない様に、日々の食事をバランス良くバラエティーに富んだ工夫を行い、新たな取り組みや創意工夫を重ねて、利用者様を支えていけるような食事サービスを提供していきます。

(1) 利用者様の選択肢を広げるため、複数献立を実施

選択メニュー（月2回の昼食で実施）複数献立を3種類の中から選んでいただく。

例①

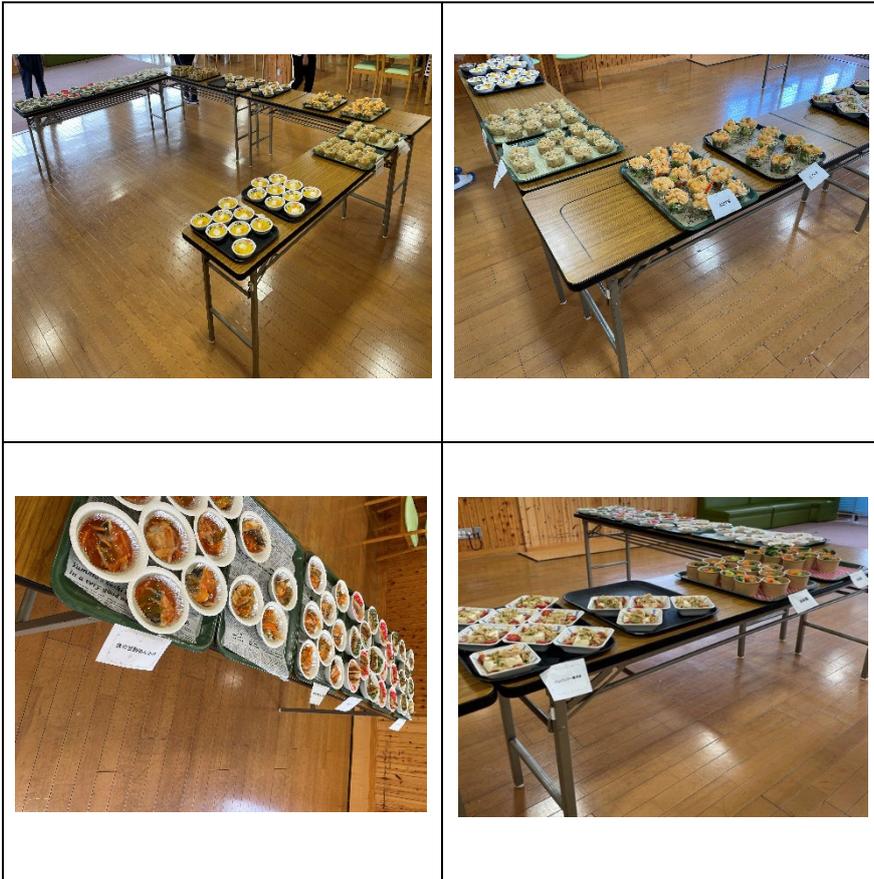


(2) ティータイム時の手作りおやつ（月2回実施）



(3) バイキング食 (イベント食)

多種類の料理の中から、好きなものを選んで自分自身で取り分けて食べていただく。



(4) 行事食

四季折々の旬の食材を使用し、利用者様が季節を食事から感じてもらえるようなメニューを考案した。

4月	お花見
5月	こどもの日
6月	バイキング
7月	七夕
8月	
9月	
10月	
11月	バイキング
12月	クリスマス
1月	お正月
2月	節分
3月	ひなまつり



障害福祉サービス事業所 太陽の郷（生活介護/就労継続支援 B 型）

事業計画に目標として掲げていた内容において、下記の通り実施した。

- 生活介護事業では、利用者が見通しのある生活を送れるように専門的知識の向上に向けて実践に取り組んだ。法人内他事業所の職員と協力して、スケジュールボードを使い時間の構造化、机の配置、作業場所の設定など空間の構造化を進めた。そのなか、職員間でのディスカッションする場面が増えて、学習の機会を設け今後も専門性を高め利用者の生活の質の向上に繋げていく必要がある。
- 県として「障害者の芸術文化活動の推進」の部門を設置し動きが増えるなか、コンクールや展示会など積極的に出展した。神戸しあわせの村で開催されている「第12回こころのアート展」（作者にスポットを当てたアート展）では、110人応募の中の10名に選出され授賞式に参加した。絵画クラブの利用者も展示会の出展に向けて創作意欲が高まっている。
- 就労継続支援B型事業では、各関係企業に積極的に声をかけていくことで受注増に繋がった。ごりんやでは、毎日の食卓やお弁当のお供になるような商品開発を進め「梅ひじき」の販売を6月より開始した。中はりま県民センター主催の授産品コンクール食品の部で「審査員奨励賞」を受賞し、イベント販売でも販路拡大を目指した。ランチや季節の商品をSNS等で発信して売り上げの向上に努め、利用者に平均工賃月額 36,196 円（令和4年度兵庫県平均工賃月額 17,111 円）を支払うことが出来た。また、作業後には利用者自身に振り返りの時間を設け、職員とともに目標達成に向けて意欲の向上に努めた。

事務関係・施設設備管理業務報告

定例業務

保健衛生	事務関係
嘱託医往診（利用者・月1回） 体重測定（利用者・月1回） 血圧測定（利用者・月1回） 健康診断（職員・年1回）	介護給付費（生活介護、就労継続支援B型）請求 本部・施設会計試算表 小口預金 取引業者支払（末日締め、翌月払い） 福祉・介護職員処遇改善 計画書 実績報告書提出 社会福祉施設職員退職共済 掛金納付対象職員届提出 利用者負担金請求 振替 介護給付費等支給申請書提出 市民税 県民税申請書提出

施設設備管理業務

点検箇所	内容	担当業者
消防用設備点検	総合点検 8/25 機器点検 2/6	安立防災株式会社
昇降機	定期点検 毎月	東芝エレベータ株式会社
浄化槽	毎月	(株) アクアプラス
水質検査	年2回	(一社) 兵庫県水質保全センター
食堂衛生管理	毎月	衛生管理株式会社

行事等実施報告

外出先の選定には利用者に行きたいところを確認し3か所を設定した。その中から自分の行きたいところを選んで参加してもらった。また、絵画作品展に出展したときには作品鑑賞に行き作者の意欲向上に繋がった。

1. 定例行事

内容	日時
音楽クラブ	第1、第3金曜日
太鼓クラブ	第3金曜日
絵画クラブ	月2～3回
レッツゴークラブ	月2回

2. イベント行事

期日	行事内容	場所
5月23日	お楽しみ外出	さくらサーカス 姫路
5月26日	第35回ばんたん親善運動会	加古川総合運動公園陸上競技場
6月13日	お楽しみ外出	神崎農村公園ヨーデルの森
7月11日	お楽しみ外出	神戸どうぶつ王国
8月18日	そうめん流し	太陽の郷 玄関前
9月2日	的形朝市・駅前マルシェ	的形駅前通り
11月2日	送別会	太陽の郷 スマイルルーム
11月16日	ばんたんゆうあい文化祭	イーグレ姫路
11月24日	第18回兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品展受賞作品X太陽の郷作品展見学	姫路家老屋敷跡「は」屋敷
12月14日	こころのアート展オープニングセレモニー参加	神戸市しあわせの村
12月15日	忘年会	焼肉 いちばん
1月16日	新年会	豊源
1月25日	シェアactえん作品展見学・外食	姫路家老屋敷跡「は」屋敷 びっくりドンキー
2月14日	バレンタインデー	太陽の郷 スマイルルーム
3月8日	第19回兵庫県障害者芸術・美術工芸作品公募展 見学	兵庫県立美術館

職員研修報告

1. 施設外研修

職員の知識や支援に対する意識の向上を図れるよう努めた。2023年度は現地開催が増え、グループワークで発表することや他施設の職員と意見交換して良い経験になった。施設に戻り発表の時間を設け、職員間での共有にも努めた。

期日	研修名	場所	参加者
5月22日	福祉従事者新任職員研修（障害者福祉）	兵庫県福祉人材センター	笹本、上田
6月17日	売れるための、オリジナリティある商品づくりのコツ「オリジナリティとアイデア」	姫路市総合福祉会館	中田
7月5日	社会福祉法人五倫会研修会 新版k式発達検査の基礎知識	太陽の郷	白井、廣岡、笹本
7月25日 8月1日 8月8日	行動援護従業者養成研修	未来ケアカレッジ	内田
8月9日	自閉症支援の枠組みを学ぶ	姫路市総合福祉会館	熊田
8月17日	知っておきたい感染症	太陽の郷	清水、高田、荒川
8月23日	第37回播淡地区知的障害者施設長・職員合同研究会	アクリエひめじ	白井
8月31日	BCP オンライン研修	オンライン研修	白井
9月6日 9月7日 9月8日	相談支援従事者初任者研修・サービス管理責任者等基礎研修	オンライン研修	蔭西
9月13日	令和5年度兵庫県サービス管理責任者等実践研修	オンライン研修	廣岡
10月17日	令和5年度兵庫県サービス管理責任者等実践研修	兵庫県立リハビリテーションセンター	廣岡
11月7日 11月8日 11月9日	リスクマネジメント研修	TOC 有明コンベクションホール	白井
11月1日	放課後等デイサービス向け研修会	姫路市市民会館	白井、廣岡
3月18日	法人内研修 AED講習	太陽の郷	白井、吉中、笹本、南山、小川、野崎

2. 施設内研修

利用者支援に関する話を多く実施してきた。個別対応の必要性や、状況に応じた支援、意思決定等、職員間でのしっかりとした共有と統一支援を目指していく上での大切な機会として実施した。

期日	研修内容	講師・他	参加者
4月20日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、笹本、内田
4月28日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
5月18日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、上田、笹本、内田

5月27日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
6月23日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、上田、笹本、内田
6月23日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
6月16日	工賃検討会議	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
7月20日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、上田、笹本、内田
7月21日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
8月5日	個別支援会議	生活	白井、濱本、清水、高田、上田、笹本、内田
8月16日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、上田、笹本、内田
8月18日	個別支援会議	就労	白井、熊田、柴田、廣岡
8月19日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、柴田、廣岡
9月20日	工賃検討会議	就労	白井、柴田、廣岡
9月22日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、笹本、内田
9月22日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、柴田、廣岡
10月20日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、笹本、内田
10月20日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、柴田、廣岡
11月16日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、笹本、内田
11月17日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、柴田、廣岡
12月15日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、柴田、廣岡
12月22日	工賃検討会	就労	白井、柴田、廣岡
12月27日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、笹本、内田、南山
1月17日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、清水、高田、笹本、内田、南山
1月19日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、柴田、廣岡
1月21日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、蔭西 清水、高田、笹本、内田、南山
2月16日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、柴田、廣岡
2月20日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、蔭西 清水、高田、笹本、内田、南山
3月7日	個別支援会議	就労	白井、柴田、廣岡
3月9日	個別支援会議	生活	白井、濱本、蔭西 清水、高田、内田、内田、南山
3月10日	利用者ケース会議・検討会	就労	白井、柴田、廣岡
3月24日	利用者ケース会議・検討会	生活	白井、濱本、蔭西 清水、高田、笹本、内田、南山
3月28日	工賃検討会	就労	白井、柴田、廣岡

実習生受入報告

2023 年度 実習生受入れ実績なし

資格取得者

取得資格	人数(総取得者数)
社会福祉士	1 (1)
介護福祉士	(4)
保育士	(1)
社会福祉主事	(4)
強度行動障害支援者養成研修 (基礎)	(1)
強度行動障害支援者養成研修 (実践)	(2)
行動援護従事者養成研修	1 (7)

太陽の郷(生活介護・就労継続支援B型)日課

生活介護：活動の場を余暇と作業に分けている。集団での活動に加え、個々の特性や興味の違い等を考慮しながら一日のプログラムを考えて提供した。

就労継続支援B型：登所から降所まで、利用者それぞれが自分の動きを理解して行動出来る様な予定表の掲示、個々に作業目標を設定しながら一日のプログラムを考えて提供した。

生活介護	時間	就労継続支援B型
登所	9:00	登所
朝礼・ラジオ体操	9:30	朝礼
作業・活動	9:35	作業
休憩	10:30	休憩
	10:35	
作業・活動	10:45	作業
	10:50	
	11:50	昼食・休憩
昼食・休憩	12:00	
歯磨き	12:40	掃除
	12:50	作業
作業	13:00	
	13:30	
休憩	13:45	休憩
作業	14:00	作業
掃除・終礼	15:00	掃除・終礼
降所	15:30	降所

利用者状況

【生活介護】年齢別利用者数

年齢（歳）	18～20	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	合計（人）
男性	0	3	5	4	1	0	13
女性	0	0	2	1	4	0	7
合計	0	3	7	5	5	0	20

【就労継続支援 B 型】年齢別利用者数

年齢（歳）	18～20	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	合計（人）
男性	0	3	3	5	0	0	11
女性	0	1	0	4	1	0	6
合計	0	4	3	9	1	0	17

利用者平均年齢

	男性全体	女性全体	生活介護	就労継続支援 B 型
最少年齢	21 歳 7 ヶ月	26 歳 3 ヶ月	20 歳 7 ヶ月	22 歳 4 ヶ月
最高年齢	52 歳 9 ヶ月	57 歳 3 ヶ月	57 歳 3 ヶ月	55 歳 9 ヶ月
平均年齢	36 歳 8 ヶ月	43 歳 1 ヶ月	-	-
男女平均年齢	38 歳 5 ヶ月		39 歳 4 ヶ月	37 歳 5 ヶ月

障害支援区分

【生活介護】障害支援区分

区分	なし	1	2	3	4	5	6	合計（人）
人数	0	0	0	1	8	8	3	20

【就労継続支援 B 型】障害支援区分

区分	なし	1	2	3	4	5	6	合計（人）
人数	0	0	4	8	4	1	0	17

医療機関受診状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計（人）
整形外科	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3

協力医療機関

医療機関名	診療科	所在地	電話
けい整形外科（嘱託医）	整形外科	高砂市北浜町西浜 1208-75	079-254-5533

事故・ヒヤリハット

今年度、事故が4件、ヒヤリハットが1件あった。施設外作業では作業前の安全と考えられた場所での転倒による怪我があり、より一層の安全確認の徹底、事故発生時の対応を明確化することでより意識を高めて作業に向かうようにした。安心安全な支援を実施する上で、それぞれに下記のような対応策を考え、改善に努めた。

事故報告

No	事故内容	対応策
1	施設外作業（除草）の現場にて、斜面で転倒し打撲・擦り傷の怪我を負った。	職員が事前に作業現場の危険箇所の確認を行い、危険認識の難しい利用者については職員が作業場を選定し、安全に作業を行えるようにした。
2	手洗い場の床で足を滑らし、ドアの角に額を打ち付け出血を伴う怪我を負った。	手洗い場で洗髪することで床が濡れ今回の怪我に繋がった。洗髪する場所ではないことを視覚的に提示し伝え、理解を得るようにした。
3	活動参加時に左ひじに擦り傷の怪我を負った。	活動準備時は見守りが不足してしまう為、職員2名で対応にあたり、1名は見守りに徹底した。
4	送迎の迎え忘れにより、利用者さんを30分集合場所で待たせてしまった。	前日の終礼時に、送迎の変更等も含め全体周知した。また、送迎車の発車を確認しやすいように環境面を整えた。

ヒヤリハット報告

No	ヒヤリハット内容	対応策
1	服薬時の利用者が施設外作業と勘違いし、服薬時間が遅れてしまった。	服薬時間の変更等による投薬間違いを防ぐため、投薬担当とは別に最終確認する職員を配置する。

苦情の集計件数

今年度の苦情は0件であった。

苦情種別・申出人の集計

申出人	苦情	その他
利用者	0	0
家族	0	0
代理人	0	0
職員	0	0
その他	0	0
合計	0	0

作業報告

【生活介護】作業種目・内容

作業種目	作業内容
株式会社マスク	箸入れ作業では、箸のナイロン入れを行う。 外食産業が回復傾向にありそれに伴い受注量がコロナウイルス感染症発生以前に戻りつつある。利用者の作業のペースや正確性も高まり、安定した量を生産していくことが出来、企業からの受注目標を達成していくことが出来た。

【生活介護】作業売上

工賃支給：作業を通じて得た収入から必要な経費を控除した額に相当する金額を工賃として支給し、利用者個々の能力とモチベーションアップに努めた。

(単位：円)

月	株式会社マスク
4月	58,900
5月	56,430
6月	45,315
7月	54,150
8月	51,110
9月	75,460
10月	52,660
11月	58,330
12月	80,750
1月	48,450
2月	61,560
3月	72,390
合計	715,505

【就労継続支援 B 型】作業種目・内容

作業工程の見直しや補助具の製作することで作業効率の向上を図り、個々の能力や特性を活かすことで工賃向上へ努めた。

下記の作業を通じて得た収入から、必要な経費を控除した額に相当する金額を工賃として支給した。施設内作業に加え、施設外作業にも出向する事で地域との関わりや、一般常識等の取得にも繋げた。

作業種目	内容	受注業者
受託事業	パンフレット封入等の DM 作業	<ul style="list-style-type: none"> • デイリー印刷 • 船場印刷
製造・販売事業	仕込み、配達、店舗出向等の作業	<ul style="list-style-type: none"> • お惣菜の店「ごりんや」
空缶等回収販売事業	アルミ缶回収、プレス、古雑誌等の納品等の作業	<ul style="list-style-type: none"> • 進路工業 • 三共スチール • 安田商店 • 日進興業
公園管理事業	除草、清掃等の施設外就労作業	<ul style="list-style-type: none"> • 姫路市役所 • 中播磨県民局 • ヤマサ蒲鉾 • 播備 • 西川建材 • 益田人事労務事務所 • フロンティア • 一般家庭からの依頼

【就労継続支援 B 型】過去の平均工賃月額

年度	平均工賃
2019 年度	30,614 円
2020 年度	35,555 円
2021 年度	36,064 円
2022 年度	35,379 円
2023 年度	36,196 円

【就労継続支援 B 型】作業売上

(単位：円)

月	受託事業	製造・販売事業	公園管理事業	合計
4 月	329,112	1,536,722	248,050	2,113,884
5 月	257,200	1,395,117	0	1,652,317
6 月	521,404	951,906	230,539	1,703,849
7 月	307,395	1,261,917	164,000	1,733,312
8 月	360,555	1,021,145	561,000	1,942,700
9 月	196,785	947,301	275,639	1,419,725
10 月	354,635	1,011,250	347,020	1,712,905
11 月	228,509	972,870	225,522	1,426,901
12 月	553,486	795,192	498,044	1,846,722
1 月	311,500	818,068	0	1,129,568
2 月	223,730	743,866	100,000	1,067,596
3 月	84,450	908,150	432,360	1,424,960
合計	3,728,761	12,363,504	3,082,174	19,174,439

クラブ活動報告

2023年度は前年度同様に講師を招いて「絵画クラブ」「音楽クラブ」「和太鼓クラブ」、職員による「レッツゴークラブ」を実施している。

1. 絵画クラブ

【目的】色使いや形において「自分の好きな様に」という講師の考えの元、個性を活かす事を目的とする。

講師	教室日	時間	参加者
西ノ原 菜於美	月2~3回	10時~12時	利用者

2. 和太鼓クラブ

【目的】表現する喜びと楽しさを感じてもらう。また自立心の向上、責任感・協調性を養う事を目的とする。

講師	教室日	時間	参加者
民謡集団 鯨	毎月第3金曜日	13時~15時	利用者

3. 音楽クラブ

【目的】心身のリラックス、表現力を養う事で自分の意思や感情を表せられる様になる事を目的とする。

講師	教室日	時間	参加者
磯部 千晶	毎月第1・3金曜日	10時~12時	利用者

4. レッツゴークラブ

【目的】施設乗用車を使用し、ドライブや公園の散策を行った。施設の外に出ることで普段と違った景色を見ることで、リフレッシュや気分転換を目的として実施している。

講師	実施回数	時間	参加者
施設職員	毎月2回	10時~12時	利用者

共同生活援助 チャレンジ（介護サービス包括型）

2023年チャレンジは、前年度に引き続き一人ひとりの希望を叶えるため個別支援・個別対応に重点を置いたサービス提供を実施した。また、グループホームから一人暮らしへのステップアップを希望する利用者が増加している現状を踏まえ自立支援の強化を図った。利用者の生活環境の快適化を図るため、「神戸やまぶき財団」より約300万円の助成金を受け、ふぁむ的形全室のエアコンと給湯器を新しくした。生活環境が快適化されただけでなく、電気代が下がったことにより金銭的負担が軽減した。6月に2名の利用者が大病を患い入院を余儀なくされた。1名は2週間程度の入院を経て無事退院したが、他1名は予後不良のため8月に退所へと至った。9月に男性利用者1名が新たに入居し、3月現在の現員は11名のままである。定員が12名なので、空床となっている1枠は、短期入所事業を実施し活用している。事業計画において重点目標に挙げていた項目については以下の通り実施した。

① 利用者の権利擁護

利用者本人が希望する生活の実現のため、一人ひとりの要望や苦情を積極的に聞き入れ個々に合わせた支援、環境、機会等を提供した。生活場面で求められる多くの選択や決定を利用者自身が行うことで、利用者の権利を守ると共に生活の質の向上に繋がった。虐待防止・差別解消に関する研修を受講、全職員に周知徹底することで、職員の権利擁護に関する意識向上を図った。

② 地域交流・余暇活動の充実

利用者の心身のリフレッシュや経験を積み重ねること、チャレンジ職員や関係者との交流等を目的とし利用者の余暇がより良いものとなるよう下記の支援を提供した。

- ・ 個々の希望に合わせた誕生日外出の計画、実行
- ・ 単独外出の調整や助言等
- ・ 室内で取り組める余暇の提供
- ・ 社会的ルールやマナーに関する助言、指導

③ 個別支援の強化

日常生活支援に重点を置く利用者には排泄、入浴などの支援を強化した。日中活動の場がない利用者には、就職に関する助言や指導を中心に支援を組み立てた。一人暮らしをするという目標を掲げている複数の利用者があるが、情報の取捨選択を課題とする利用者には、場面や状況に応じた相談先を確立し情報処理のサポートを実施した。また、日常生活の中で起こる小さな出来事（洗剤がなくなってしまった。排水溝の掃除の仕方が分からない。など）に対して、自己判断での対処が難しい利用者には、対処方法やその出来事のメリット、デメリットなどを提示した。同じ目標に対しても同じ支援内容ではなく個々のスキルに応じた支援を検討し提供した。年齢、障害特性、生活環境など、利用者を取り巻く様々な要因、環境の変化に応じて支援内容を再検討し、状況に応じた支援の提供を徹底した。

④ 健康管理

日々の血圧測定や身体状態のアセスメントを実施、必要に応じて看護師や医療機関に相談し、指示を受け対応した。予防医療のための定期的な受診や健康に関する情報を提供し、利用者自身の健康に関する意識向上に繋がった。心身の異状を確認した際は、医療機関を受診し早期治療に努めた。感染症対策も継続し、マスク装着や手洗いやうがいの励行、手指消毒、生活スペースの消毒、朝、夕の体温測定を徹底した。

短期入所事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	1	1	0	4	1	1	2	4	0	1	1	2	18
延べ日数	27	31	0	13	2	5	4	13	0	6	5	4	110

4月～5月に緊急短期入所の受入れを実施した。以降積極的に短期入所利用を呼び掛け、太陽の郷の利用者が多く利用した。

共同生活援助事業所 所在地

名称	住所
チャレンジ大塩	姫路市大塩町 119 番地 2 エルドラド 101 202
ふあむ的形	姫路市的形町の形 1768 番地 27

職員勤務体制

職員	人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名
看護師	1名(兼務)
生活支援員	5名
世話人	7名
夜勤者	5名

利用者状況

定員と現員

定員	現員		
	男性	女性	合計
12	7	4	11

年齢別利用者数

年齢(歳)	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~
人数	0	3	1	2	5	0

利用者平均年齢

	男性	女性
最小年齢	22歳6カ月	27歳3カ月
最高年齢	56歳5カ月	58歳3カ月
平均年齢	40歳7カ月	49歳3カ月
男女平均年齢	43歳9カ月	

障害支援区分

支援区分	1	2	3	4	5	6	平均
人数	0	2	5	2	2	0	3.3

療育判定区分

療育判定	B2	B1	A
人数	2	5	4

【一般就労(4名)】日中活動状況

勤務先	人数	勤務内容
(株)イオンリテール(イオン姫路店)	2	カート回収
(株)黒田製作所	1	製造業
(株)トップリーフ	1	警備業

【その他(7名)】日中活動状況

日中活動先	人数	内容
あぼしりサイクル事業所(就労継続支援A型)	1	分別作業
太陽の郷(生活介護)	1	軽作業等
太陽の郷(就労継続支援B型)	3	受託作業、製造販売作業等
福祉作業所ハーモニー(就労継続支援B型)	1	軽作業等
就労継続支援A型ゆめか(就労継続支援A型)	1	軽作業等

医療機関受診状況

通院状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	4	5	4	5	5	3	3	3	3	3	5	9	52
呼吸器内科	1					1							2
精神科	3	3	2	2	3	1	2	2	2	1	4	1	26
神経科	1	1	1	1	1	1	1	1	2		1	1	12
整形外科			2				2	1	2			5	12
耳鼻咽喉科	1	1	1	2	2	1	3	1	1	1	2	2	18
皮膚科	3	4		3			2	2	1			3	18
歯科		3	4	1	2	4	1	2	3	2	1	5	28
婦人科													
眼科							1						1
外科					1	2							3
泌尿器科							1	1	1	1	1	1	6
予防接種							1	5	2				8
口腔外科		2	1										3
消化器内科			1	2									3
神経内科			1		1	4	2	1		1			10
カウンセリング				1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
合計	13	19	17	17	16	18	20	20	18	10	15	28	211

協力医療機関

医療機関名	診療科	所在地	電話
けい整形外科クリニック (嘱託医)	整形外科	高砂市北浜町西浜 282-4	079-254-5533
姫路第一病院	内科・外科 整形外科・循環器科	姫路市御国野国分寺 143	079-252-0581
高砂西部病院	総合病院	高砂市中筋 1 丁目 10 番 41 号	079-447-0100

利用医療機関

医療機関名 (50 音順)	診療科	所在地	電話
あだちこども診療所	神経科	加古川市加古川町美乃利 465-1	079-423-2567
いのうえ皮ふ科	皮膚科	姫路市別所町佐土 2 丁目 61	079-252-4112
井野病院	耳鼻咽喉科	姫路市大塩町汐咲 1-27	079-254-5553
魚橋病院	精神科	相生市若狭野町若狭野 235 番地 26	0791-28-1395
けい整形外科クリニック	整形外科	高砂市北浜町西浜 1208-75	079-254-5533
仁恵病院	精神科	姫路市野里 275	079-281-6980
せお眼科内科クリニック	眼科・内科	姫路市北原 266-1	079-240-6231
寺田内科呼吸器科	内科・呼吸器科	姫路市城東町五軒屋 3-6	079-285-0111
土井医院	内科	姫路市の形町の形 1761-20	079-254-0732
播磨大塩病院	精神科	姫路市大塩町 1096	079-254-0321
はりま姫路総合医療センター	総合病院	姫路市神屋町 3 丁目 264 番地	079-289-5080
姫路聖マリア病院	総合病院	姫路市仁豊野 650	079-265-5111
姫路第一病院	外科	姫路市御国野町国分寺 143	079-252-0581
まつばらクリニック泌尿器科	泌尿器科	姫路市駅前町 271	079-283-3717
みやけ内科・循環器科	内科・循環器科	姫路市大塩町宮前 1 番地	079-254-5175
森脇神経内科	精神科・神経内科	高砂市阿弥陀町 958-1	079-448-4800
山本歯科	歯科	姫路市大塩町宮前 28 番地	079-254-6966
よしだ耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	高砂市荒井町扇町 14-13	079-443-0335

職員研修報告

期日	研修名	場所	参加者
6月20日	スーパーバイズを活用した支援の実践報告会	オンライン研修	田口・柴田
7月6日	法人内研修（新版 K 式発達検査の基礎知識講演）	太陽の郷 作業場	柴田
8月17日	感染症対策研修	太陽の郷 作業場	田口・柴田・川添・鷺尾・下川・岩城・松嶋・宇塚
8月31日	社会福祉施設に求められる BCP 策定について	オンライン研修	柴田
10月3日、4日	全国グループホーム等研修会	広島国際会議場	柴田
10月13日	障害者虐待対応力向上研修 C 研修	姫路労働会館	柴田
11月1日	放課後等デイサービス向け研修会	姫路市市民会館	柴田
11月28日	障害福祉サービス等事業者運営適正化支援事業研修会「虐待と支援」	オンライン研修	灘
12月5日	姫路市障害福祉サービス実践報告会	アクリエひめじ 小ホール	柴田
12月19日	障害福祉サービス等事業者運営適正化支援事業研修会「福祉サービスにおける感染症対策」	オンライン研修	柴田・灘
1月23日	障害福祉サービス等事業者運営適正化支援事業研修会「災害と事業継続計画」	オンライン研修	柴田
2月13日	応用行動分析からの行動問題の理解と支援の基礎	太陽の郷 作業場	柴田
2月20日	障害福祉サービス等事業者運営適正化支援事業研修会「身体拘束をしない支援」	オンライン	柴田・灘
2月28日	令和6年度報酬改定勉強会	アクリエひめじ 会議室	田口・柴田

相談支援事業所 ふらっと

相談支援事業は、利用者や保護者の希望を踏まえたうえで目標や課題を共有し、活動の場・利用頻度などの計画を立てコーディネートする役割を担っている。

概要報告

11月より相談支援専門員を2名体制とし、契約者数は令和5年3月末時点で135名である。昨年度より新規契約18名増となっている。利用者やその家族、またはキーパーソンとの面談の実施だけでなく、各サービスの担当者にも意見を聞き、課題や支援の方向性、サービスの必要性において共通理解に努めた。相談支援専門員が不足しているにもかかわらず、相談支援の利用者数は今後も増加していくと予想されている。サービスの利用を希望する人、事業所の閉鎖等により引き継ぎ依頼のあった方も受け入れを行った。

運営の実績

(5) 計画相談支援及び障害児相談支援

ケアプランを作成し福祉サービスを活用した日常生活支援、日中活動先及び短期入所先の確保等の支援、ケアマネジメントを実施した。

サービス等利用計画作成

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
者計画	4	7	25	1	0	5	4	3	2	0	1	2	54
児計画	17	2	0	4	3	7	9	7	8	10	5	6	78
者継続利用	7	1	7	5	10	4	4	29	6	4	8	7	92
児継続利用	5	9	11	3	6	6	2	0	3	4	6	6	61
合計	33	19	43	13	19	22	19	39	19	18	20	21	285

・継続利用：モニタリング

(6) 市委託相談事業

10月より姫路市地域相談窓口「東部ひめりんく」を姫路市から事業受託する。より身近な地域で、障害のある方やその家族への助言、福祉サービスの利用調整や援助等、地域での生活における総合的な相談、支援を行った。福祉サービスに繋がっていない「対象者ケース」が未だ地域に多く埋もれている事を考えれば、それらを掘り起こす為に必要な関係機関との連携、情報共有の強化が必要を実感した。難病、発達障害等の新たな障害態様や医療的ケア児の増加に伴うニーズの多様化や複雑化など、相談支援に係る専門性はこれまで以上に強く求められていると感じた。

障害種別

(単位：人)

種別/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体障害							0	0	0	1	0	2	3
知的障害							0	0	2	0	1	4	7
精神障害							23	19	18	13	5	9	87
発達障害							27	18	27	20	14	26	132
その他							11	10	13	9	4	5	52
合計							61	47	60	43	24	46	281

相談内容

(単位：件)

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉サービス利用							36	27	28	28	6	39	164
障害の症状・理解							0	0	0	1	1	1	3
不安・情緒安定							7	11	24	8	9	4	63
保育・教育							0	0	0	0	0	0	0
家計・経済							7	8	7	8	1	2	33
家族・人間関係							0	0	7	8	7	2	24
就労関係							0	2	4	6	3	0	15
その他							21	17	33	14	11	23	119
合計							71	65	103	73	38	71	421

職員勤務体制

職員	人数
管理者	1名(非常勤兼務)
相談支援専門員	2名(常勤専従)

職員研修報告

期日	研修名	場所	参加者
7月6日	法人内研修(新版K式)	太陽の郷	綿野
8月17日	法人内研修(感染症 姫路市出前講座)	太陽の郷	綿野
8月22日 23日	相談支援専門員初任者研修1日目 相談支援専門員初任者研修2日目	Zoom Zoom	藤井
8月26日	法人内研修(オリオンの取り組み)	太陽の郷	綿野
9月28日 29日	相談支援専門員初任者研修3日目 相談支援専門員初任者研修4日目	福祉のまちづくり研修所 福祉のまちづくり研修所	藤井
10月13日	障害者虐待対応力向上C研修	姫路労働会館	綿野
11月7日 8日 9日	相談支援専門員初任者研修5日目 相談支援専門員初任者研修6日目 相談支援専門員初任者研修7日目	福祉のまちづくり研修所 福祉のまちづくり研修所 福祉のまちづくり研修所	藤井
11月28日	虐待防止研修	Zoom	綿野
12月17日	ひきこもり支援研修	姫路市総合福祉会館	藤井
12月19日	身体拘束研修	Zoom	綿野・藤井
1月9日	姫路市地域自立支援協議会専門部会	姫路市総合福祉会館	綿野
2月27日	相談支援事業所全大会	姫路市総合福祉会館	藤井

放課後等デイサービス オリオン

2023年度の事業計画にて重点目標として掲げていた内容について下記の通り実施した。

(1) 支援の質の向上

空間の構造化や視覚支援に力を入れ、利用児童ひとりひとりに対して見通しが立つような掲示物やスケジュール等を試行錯誤しながら提供した。職員からは情報やエビデンスに基づいた考え方や発言が多く聞かれるようになり、それに比例して児童へ提供する療育の質が上がってきていることを実感している。上述したように視覚支援、コミュニケーション支援においてはレベルアップが見られるが、軽度知的障害の児童たちに対する療育として SST（ソーシャルスキルトレーニング）や学習障害（LD）における支援スキルの弱さを感じた一年でもあった。今後も支援の質の向上を目指して課題と目標を設定し、着実に積み重ねていく。

(2) 保護者支援

年間を通して保護者へ向けての勉強会を開催した。まだまだ定着にはほど遠いと感じるが、興味を持っていただける親や、継続して参加してくれる親は着実に増えてきている。それぞれの家庭環境におけるニーズや悩み事などにも対応できるように今後も続けていく必要性を感じた1年であった。そして何より1年間継続して実施できたことが職員の自信にも繋がった。

※年間の勉強会内容は下記の通り。

月	内容	延べ人数
4月	①自閉症の支援について（初級編）	4名
5月	②絵カード、スケジュール等の構造について	8名
6月	①自閉症の支援について～アセスメントとスケジュール導入編～	8名
7月	②アセスメント手法のご紹介	8名
8月	① 自閉症の支援について～アセスメントシート作成編～	0名
9月		5名
10月	①オリオンでの療育について～ご家庭でも使える工夫編～	3名
11月	◇関わり方の3原則（視覚的・具体的・肯定的）について ◇絵カード、自立課題等の紹介	3名
12月	① 今までの勉強会の内容をもう一度聞きたい	1名
1月	①五倫会 成人施設の紹介・見学会	21名
2月	① 個別相談	1名
3月	① 個別相談	1名

(3) 人材育成

それぞれに「絵カードコミュニケーション担当」、「空間の構造化担当」等の役割を与え、全体の場合での発信や提案に関して意識を持てるようにした。現在では、職員ひとりひとりが主体性をもって発言や行動が出来るようになってきている。とはいえ、まだまだ共有や発信等が不十分で、個別療育に関する手順や情報が担当者しか把握できておらず、属人化してしまうことも見受けられるが、それとは別に、工夫してなんとかしていこうという姿が見られていることが嬉しいところである。今後は運営、経営面における知識等をしっかりと伝えていくことが課題である。

その他、11月には姫路市の後援を頂き、姫路市内の事業所を対象に「放課後等デイサービス向け研修会」を五倫会主催で開催した。昨年と同様に、兵庫教育大学大学院 井澤信三教授を招聘し、ABA（応用

行動分析)研修を1日通して開催した。午前では基礎知識の習得、午後は事例検討を実施し、職員にとっては他事業所の職員と議論を交わす機会を持てたことが、モチベーションアップにも繋がった。

また、兵庫県の委託事業として実施している強度行動障害S V養成事業の実践報告会にて、法人を代表してオリオンより2名の職員が壇上に上がった。現地に100名以上、リモートに30名弱という大勢の前での実践報告となった。外部と接する機会を持てたことで、知見を広げることに繋がった。

※放課後等デイサービス向け研修会の詳細については下記の通り。

日時	内容	参加者
11月1日 10:00~15:00	応用行動分析について学ぶ ~行動問題の理解と支援~ AM:講義 PM:事例検討	32名

学校別利用者数

(単位:人)

学校名	男児	女児	計
姫路特別支援学校	26	16	42
しらさぎ特別支援学校	13	3	16
東はりま特別支援学校	4	0	4
いなみの特別支援学校	1	0	1
大塩小学校	2	0	2
的形小学校	2	1	3
糸引小学校	2	0	2
妻鹿小学校	1	0	1
別所小学校	1	1	2
白浜小学校	1	0	1
谷外小学校	1	0	1
高浜小学校	2	0	2
城東小学校	0	1	1
手柄小学校	1	0	1
津田小学校	1	2	3
城山中学校	1	0	1
合計	59	24	83

契約者数:83名

市町村別利用者数

(単位:人)

性別	姫路市	高砂市	加古川市
男児	54	4	1
女児	24	0	0
合計	78	4	1

月別利用実績

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受入実績	430	421	433	453	434	460	463	403	437	464	451	462	5311
受入可能	500	520	520	520	480	520	520	480	480	480	500	520	6040
差	-70	-99	-87	-67	-46	-60	-57	-77	-43	-16	-49	-58	-729

日課

視覚支援を取り入れることで、児童の動きや表出の仕方が明らかに変わってきた。一日の流れのなかで、見通しが立たずに不安な様子を見せる児童においても比較的安定した状態で活動に取り組めることも多くなってきた。そういった支援を全体活動、個別活動へ個々の特性に応じて導入し、児童達がしっかりと療育を受けられるように努めた。

学校終了後スケジュール

時間	学校終了後
14:30	学校迎え・随時来所 手洗い・検温・健康チェック
15:00	個別活動・全体活動
16:30	おやつ 余暇時間
17:15	帰る準備
17:30	帰宅

休校日スケジュール

時間	休校日
10:00	自宅迎え・随時来所 手洗い・検温・健康チェック
10:30	個別活動・全体活動
12:00	昼食
13:00	個別活動・全体活動
15:30	おやつ・余暇時間
15:45	帰る準備
16:00	帰宅

音楽活動

【目的】外部より講師を招いて実施をした。音楽を聴きリズムを取る、楽器を鳴らしてみる等、身体を動かしたり、情緒の安定等へと繋げていった。

講師	教室日	時間	参加者
高谷優子先生	月2~3回	14:30~15:30	利用児童・職員

行事等実施報告

外出や調理実習等を積極的に提供し、経験や体験を多く積んでもらえるよう努めた。その他、土祝等の天気の良い日は近隣の公園等に出かけ、身体を動かして楽しんだ。

期日	行事内容	場所	担当者
7月8日	白玉団子を作ろう	オリオン	オリオン職員
7月22日	ベーコンパンを作ろう	オリオン	
8月1日	外出へ行こう	トランポリンパーク	
9月23日	ハヤシライスを作ろう	オリオン	
10月9日	お祭りをしよう	オリオン	
11月3日	みかん狩りへ行こう	塩屋山みかん園	
11月18日	本を買いに行こう	未来屋書店(東山店)	
11月23日	ホットケーキを作ろう	オリオン	
12月23日	クリスマスパーティー	オリオン	
12月25日	クリスマスパーティー	オリオン	
3月15日	ポーリングへ行こう	青山スポーツガーデン	

職員研修等報告

その都度必要と感じる議題や学びたい内容を挙げての事業所内勉強会を中心に実施した。それに対する外部からの学びも入れながら知識習得に努めた。今回も法人主催の勉強会を開催することが出来た。

期日	研修内容	場所	参加者
4月20日	TEACCHプログラム研究会（リチェルカ）	オンライン勉強会	妹尾
5月18日	TEACCHプログラム研究会（リチェルカ）	オンライン勉強会	妹尾
5月29日	船井総研 保育所等訪問 立ち上げセミナー	オンライン研修	村上
6月15日	TEACCHプログラム研究会（リチェルカ）	オンライン勉強会	妹尾
7月6日	法人研修 発達検査基礎編（姫路大学 郷間氏）	太陽の郷	全職員
7月19日	リタリコ SSTについて	オンライン研修	村上
7月21日	経営協オンライン研修	オンライン研修	村上
8月14日	リタリコ R6.報酬改定について	オンライン研修	村上
8月20日	関西福祉大学記念講演	関西福祉大学	村上
8月26日	不登校ロボの運用方法等について	別所公民館	村上
10月16日	五感が育つ子どもの食育	姫路市総合福祉会館	甲斐
11月1日	放課後等デイサービス向け研修会	姫路市市民会館	全職員
11月19日	発達障害実務者養成講座（児童期）	兵庫県学校厚生会館	梶
11月21日	県知協 意思決定支援研修会	県福祉センター	蔭西
11月28日	「虐待と支援」～虐待防止の風土づくり～	オンライン研修	妹尾
12月19日	「感染症対策について」	オンライン研修	甲斐
12月21日	TEACCHプログラム研究会（リチェルカ）	オンライン勉強会	妹尾
1月6日	福祉のつどい	クラウンプラザ神戸	村上
1月18日	TEACCHプログラム研究会（リチェルカ）	オンライン勉強会	妹尾
1月23日	「BCPについて」	オンライン研修	村上
1月31日	近畿地区施設長会議	滋賀県	村上
2月1日	PECS レベル1 ワークショップ	オンライン研修	梶
2月2日	PECS レベル1 ワークショップ	オンライン研修	梶
2月13日	法人研修 ABA 事例検討（井澤教授）	太陽の郷	全職員
2月15日	TEACCHプログラム研究会（リチェルカ）	オンライン勉強会	妹尾
2月15日	AED 講習	姫路暁乃里	甲斐
2月20日	「身体拘束について」	オンライン研修	甲斐
2月28日	報酬改定勉強会	アクリエひめじ	村上、蔭西
3月21日	TEACCHプログラム研究会（リチェルカ）	オンライン勉強会	妹尾

資格所得者

該当者なし

事故・ヒヤリハット

事故無し。ヒヤリハット 3 件であった。内容と対処法は下記の通り。

- ①柑橘系アレルギーのある児童がおやつ時に他児童のオレンジジュースを盗飲してしまう。柑橘系全般ではなくグレープフルーツであった為、体調面等への影響はなかった。職員への周知と、飲食時の職員の立ち位置を考え直す対応をとった。
- ②送迎からの降車時に職員の手を離れ、建物の裏手へ行ってしまった。児童ひとりひとりの行動面の確認と、降車順番を見直す対応をとった。
- ③食事時にラップで包まれた食べ物をそのまま食べようとしていた。ラップや串等、食事前のチェックを全員分行うことで対応した。

事故内容	件数
怪我・転倒	0
その他	0

ヒヤリ内容	件数
転倒・怪我	0
その他	3

苦情の状況集計

苦情は 2 件であった。内容等は下記の通り。

- ①SNS (Instagram) の運用について、もっと詳しく書面で説明書や個人情報について作成し、全家族に説明をし、全員から承認を得た上で始めるべきではないのか。
→改めて個人情報の取り扱い説明書等を作成し、個別で説明をし直す対応をとった。(解決済み)
- ③ デイの利用時にケガをすることが続いている。どうにかならないのか。
→机の角等にはクッションを取り付けた。ただ、活発な児童であり遊びのなかで転倒することはあるということと、職員をしっかりと配置して対応しているが、突発的な行動に関しては対応しきれないこともある旨お伝えする。またいつでも安全カメラを見に来てもらっても良いと伝える対応とった。(解決済み)

苦情種別・申出人の集計

申出人	苦情	その他
利用者	0	0
家族	2	0
代理人	0	0
職員	0	0
その他	0	0
合計	2	0